2008/09/29 Mon.

文責:鈴木

研修会概要:9/3-4(水-木)

発表内容: 2008 年度 PC アドバイザー活動報告 (ML に流した ppt ファイル参照)

研修内容:

- ·他大学 2008 年度活動報告
- ・模擬講義(名市大/Excel、三重大/プレゼン)
- ・PC 講座の目的を考える((キャリア担当)森田、(元担当)白取より)
- 1.「コンテンツの品質が問われている」
 - ・Pc講座は何を学ぶ講座か?
 - ・受講生のゴールへの勘違い「はじめの一歩」で済む時代は終わった
 - ・モチベーションの勘違い 「次回から行かなくていい」の理由
 - ・「難しかった」の感想は大歓迎!
 - 難しい人 → フォローする
 - 簡単すぎた人 \rightarrow フォローが無理 (しない) \rightarrow こなくなる
 - 5点満点の満足度 → 「物足りないのでは?」
 - 疲れた → O
 - 疲れない → うまくいってないのでは?

「コンテンツづくりの落し穴」

- 1.「時間」に合わせてコンテンツを作る
- 2.「初心者」に合わせてコンテンツを作る
- 3.「講座の時間内」に100%理解してもらおうとする
- 4.「何を」よりも「どうやって」が優先される
- 5.「自分の能力」の範囲内でコンテンツを作る
- 2. 「講師の品質が問われている」
 - ・学生が講師を務める ≠ 「素人」が講師を務める
 - ・リハーサルを!(後述参照)
- 3.「〇〇大学ならではの講座」「学生がつくるからこその講座」! (大原、富士通に比べて)受講料が高いながらも受けてもらうには?

- ・スタッフ
- ・フォロー体制
- ・コミュニケーション
- 「ここでしか学べない」「ここでしか体験できない」
- 4. 「講座内容を厳選する」
 - 1.広げる
 - 2. ゴール
 - 3.難易度、楽しさ、実践
 - ※3がトップにくることはない!
- 5. リハーサルについて

「ここで失敗しなかったら、いつ失敗するの?」 模擬講義 (リハーサル) は

- ・本番と同じ緊張感でやる
- ・発見しうる「失敗」を早期発見
- ・模擬講義ごっこは時間の無駄 ex)途中でとまる(ここ、どうすればいい?) 時間どおりに始まらない

受講生「PCスキルを学ぶため」に申し込む

↓ ↑ なぜ?

主催者「プレゼンテーションスキル」まで教えたい

「視野」の差 ≒ 「経験」の差

受講生「PC スキルを習得するために講座を申し込んでいる」
↓
友人作りをしに申し込んでいるわけではない!

- 6.名工大へのメッセージ(列挙)
 - ・ネームプレート、おそろいジャンバーよかった
 - ・テキストみやすい
 - アドバイザー集めよりも企画づくりに精を出せ!
 - 年末までが勝負ですよ!